

令和6年度 江戸川区立二之江小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

<p>学校教育目標</p>	<p>人権尊重の精神をもとに、心身ともに健康で豊かな心を持ち、自ら学び、考え、行動し、主体的に自己実現を図ることができる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。「考える子」(重点目標)「助け合う子」「元気な子」</p>	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p>・子供の笑顔があふれる楽しい学校、教職員が育てることの喜びに満ちた学校、保護者、地域から信頼され愛される学校 ・基礎的・基本的な学力が定着している児童、周囲の人たちと共に生きる心をもつ児童、体力を向上させ、健康管理のできる資質や能力がある児童 ・児童の可能性を引き出し教育に対する情熱を持ち続ける教師、自己を見つめ、常に向上心を持ち続ける教師、組織の一員として、様々な立場の人の思いや願いを受け止め、共に学び続ける教師</p>
<p>前年度までの本校の現状</p>	<p>成果 &lt;成果&gt; ・新校舎への移転を円滑かつ計画的に行うことができた。教育活動も混乱なく再開することができた。 ・感染症拡大防止が終結に向かう中で実施した運動会、音楽会という学校行事を通じて、児童が自分のよさや友達のをさを認め、「できた」という喜びを実感できる学校風土を築くことができた。</p>	<p>課題</p>	<p>&lt;課題&gt; ・各学力調査、東京ベーシックドリルの解答結果により、既習事項の定着が十分ではないことが明らかになった。授業での反復学習や放課後補習教室の活用に課題が残った。 ・運動遊びや体育の授業を通じて児童の体力を向上させるまでには至らなかった。</p>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己(学校)評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己(学校)評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1人1人取り残さないための学力向上プログラム」の推進と学習規律の徹底</li> <li>○特に算数科における基礎・基本の確かな習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人取り残さないための学力向上プログラムの取組への成果と課題を明らかにして、改善案を提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上委員会の会議を月1回設定</li> <li>・学習規律プログラムを児童、教員に対して年2回実施</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上委員会の会議は月1回実施した。</li> <li>○学習規律プログラムを児童、教員に対して年2回実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の学力向上について、今後の学校の取組に期待している。</li> <li>○学力とともにコミュニケーション能力の向上も図ってほしい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上委員会の会議は継続して月1回実施した。</li> <li>○学習規律プログラムを実施した。児童は規律を守り、授業に参加しようとしていた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供一人一人の学習の仕方、取組を大切にしている。</li> <li>・校内研究を言語として全教員が授業改善に取り組み、児童の「読む力、必要な情報を正しく読み取る力」を向上させる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリル診断テストや4、5年生の区学力定着度調査の結果を分析し、既習事項が児童に定着しているかを計測</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベ→カド」別診断テスト7割達成者60%以上</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区学力定着度調査の初回の結果は、4年生が目録とした平均正答率70%を上回った。</li> <li>●東京ベ→カド」別診断テスト7割達成者60%以上という目標達成をした学年はあるが、達成していない学年が多い状況である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校は基礎を固める大切な6年間ととらえている。児童一人一人の学びを大切に、丁寧に学習を進めていってほしい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区学力定着度調査の年間における結果は、4年生が目録とした平均正答率70%を大幅に上回り、十分な結果となった。</li> <li>●東京ベ→カド」別診断テスト7割達成者60%以上の目標達成をした学年はあるが、達成できない学年もあった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校全体として、子供たちの学力を高めていくことを期待している。</li> <li>・東京ベ→カド」別診断テストや4、5年生の区学力定着度調査、3年から6年の江戸川区学力調査の結果を学力向上委員会でも分析し、基礎・基本の定着と発展的な学習への取組を主に児童の学力を向上させる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書科の更なる充実</li> <li>・読書を通じた探究的な学習の充実</li> <li>・読書科の取組を地域、保護者へ発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年での図書を使用した探究的な学習の取組</li> <li>・学校ホームページへの読書科で取り組んだ成果物の掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年学期に1回、図書を使用した探究的な学習を実施</li> <li>・学期に1回、学校ホームページに読書科で取り組んだ成果物を掲載</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期に図書を使用した探究的な学習を実施した学年が多かった。</li> <li>●1学期、学校ホームページに読書科で取り組んだ成果物を掲載することはできなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館の環境はよい。選書や図書館利用について充実を図ってほしい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、図書を使用した探究的な学習を実施した学年が多かった。</li> <li>○学校ホームページに読書科で取り組んだ成果物を掲載することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館の環境整備とともに子供たちの読書への意欲を喚起してほしい。</li> <li>・学校図書館を十分に活用し、児童の豊かな心の醸成と情報活用能力の向上を図る。</li> </ul>
体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かす楽しさの体得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と体が動き、「運動するの楽しい」と児童が実感できるような運動遊びの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区小教研体育部から講師を招請し、児童が主体的に取り組む運動遊びを学び、実践</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館での運動遊びを各学年に定期的に割り当て、雨天でも運動できる環境を設けた。</li> <li>○区小教研体育部から講師を招請し、各教員が児童が主体的に取り組む運動遊びを学び、実践した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭が完成し、児童が戸外で体を思い切り動かせるようになった。これを機に運動を楽しんでほしい。</li> <li>○水泳指導の回数が少なかった。今後のプール利用について検討してほしい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館での運動遊びを各学年に定期的に割り当て、区の施策である「なわとびチャレンジ」にも積極的に取り組んだ。</li> <li>○区小教研体育部から講師を招請し、各教員が児童が主体的に取り組む運動遊びを学んだ。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校全体として、子供たちの体力を高めていくことを期待している。</li> <li>○他校では持久走大会を実施しているが、二之江小学校はしないのだろうか。※自分の体の調子を知り、定められた時間内で走り切る運動を持久走として指導しており、大会は開催していないと回答した。</li> <li>・体育館や校庭を十分に活用し、児童が楽しく、自ら体力向上に励むような体育の授業や運動遊びを行う。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育科の授業力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の実技研修や授業づくりを学ぶ機会を設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回「江戸川区 授業の達人」や校内の体育科を専門とする教員を講師とし、体育科の授業力向上</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期に「江戸川区 授業の達人」を講師として招請し、体づくり運動の実技研修会を実施した。</li> <li>○2学期に体育を専門とする本校教員が、ICT機器を活用する体育の研究授業を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の体力が向上するよう、教員も体育の授業を工夫してほしい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次年度も積極的に体育の研修会を実施し、よりよい体育授業を目指して教員一人一人が研究に取り組んでいく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次年度も研究に励んでほしい。</li> <li>・次年度も体育を専門として学ぶ教員や専門家を招請し、さらなる学びにつなげる。</li> </ul>
教育の推進 共生社会の実現に向けた	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級、専科経営や授業での指導の手立てにユニバーサルデザインの視点を採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期1回の管理職による授業観察で、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の実践を取り入れた指導を実施しているか確認</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2学期の管理職による授業観察で「授業のユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた指導を実施しているかを確認した。管理職からは児童理解を深め、個に応じた指導のさらなる実施を助言、指導した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別に支援が必要な児童の情報を教職員間で共有し、指導に役立てている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3学期の管理職による授業観察においても「授業のユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた指導を実施しているかを確認した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次年度も教職員間で子供たちの指導支援について情報共有し、教育活動を行ってほしい。</li> <li>・「すべての子供に特別支援教育」というスローガンを掲げ、教職員間の情報共有と特別支援教育への学びを深める。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級との交流及び共同学習の実施、充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期1回以上の実施</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期に3年児童と1年生を行った。2学期は特別支援学級3年児童と3年児童が共同学習を行い、交流を深める授業を実践した。校内研究会にて授業に対する活発な意見交換があり、</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級の児童は、教職員や多くの人たちの支援や指導を受け、落ち着いて過ごしている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期に3年児童と1年生を行った。3学期は特別支援学級3年児童と3年児童が共同学習を行い、交流を深める授業を実践した。校内研究会にて授業に対する活発な意見交換があり、</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、特別支援学級の児童は、教職員や多くの人たちの支援や指導を受け、落ち着いて過ごしていると思う。</li> <li>・今後も積極的に共同学習を実施する。</li> </ul>

